加藤修平後援会だより
No.23

みんなみの風

発行/加藤修平後援会 発行責任者/古屋達夫
南足柄市狩野340 TEL.FAX.0465-74-1855
会報に関するお問い合せTEL.0465-72-2848(岩本)

市民の暮らしの向上・中小事業者の支援



加藤市長の「市民生活の安全と向上を目指す熱い思い」

新型コロナ感染症、市独自の新たな対策決定

○市内の新型コロナウイルス感染症感染者は増加していないものの、その収束は、未だに見い出せない状況です。
○このような中、加藤市長は、市民の暮らしの向上と中小事業者の経営支援を重点にした市独自の追加対策をいち早く打ち出し、実施することを決定しました。
○加藤市長は、特に、家計への支援については、市民の皆様に支援が公平に、もれなく行き渡り、利用しやすい支援策を心がけました。
○この支援策を有効に活用して、新型コロナ感染症対策を十分行い、市民の皆様とコロナ禍を乗り越えてさらに明るい市民生活の向上を目指しています。

新たな各種支援策（約3億3千3百万円）

1 家計への支援・事業者への支援

❶プレミアム付商品券を発行します
1冊3,500円で5,000円分（一世帯2冊まで）
全世帯に購入引換券を郵送
❷水道の基本料金（1カ月770円）を4カ月間無料にします

2 教育への支援

学校及び幼稚園の感染症対策など
事業費　約3千100万円

3 感染予防対策

❶指定避難所等の感染症対策資機材の整備
事業費　約4千900万円
❷指定避難所として利用するため
体育センターの設備改修　事業費　約3千万円
❸集団健診等の感染症対策
事業費　約140万円

季節性インフルエンザの予防接種費用の無料・助成も実施

新型コロナ感染症もインフルエンザも症状が似ているため、医療現場に与える影響が大きいです。インフルエンザの感染を予防し、重症化のリスクが高い人たちに、今年度に限り、予防接種費用を無料または費用の助成を行います。

1 予防接種を無料
対象者　①65歳以上の方
②60～64歳までの方で心臓や腎臓、呼吸器などに重い障害のある方
※詳しくは市広報誌10月号をご覧ください。

2 予防接種の費用に3千円を助成
対象者　生後6カ月から小学校就学前までの乳幼児
※対象家庭に案内が送付されています。
市広報誌11月号をご覧ください。

これまでの主な各種支援策の状況

市独自支援策（約2億円）

●児童扶養手当受給者緊急支援給付金
ひとり親家庭等に一世帯あたり3万円。児童2人目以降1人1万円加算。対象世帯：280 件
給付状況 給付件数：280 件

●新生児への臨時給付金
新生児一人当たり10万円を給付。
給付状況 給付件数：45件

●南足柄市就学援助費(準要保護）及び特別支援教育就学奨励費対象世帯への臨時支援金
給付状況 給付件数：406 件

●中小事業者等に対する緊急支援金
業種を問わず前年3月～5月対比で30%以上売上が減少した事業者。一事業者当たり20万円。
給付状況 給付件数：603 件

ますます元気な南足柄へ～「ふるさと納税」と「道の駅」が好調です

南足柄市の「ふるさと納税」が激増
神奈川県内で１位　全国では23位

●令和元年度に寄附された「ふるさと納税」は、**前年度の約8倍を超えて、26億6,591万円**と大幅に増加し県内1位に躍進しました。

●制度を導入した当初の平成25年度は**約1,120万円**でしたが、平成29年度は**約3億6,709万円**。平成30年度は**約3億1,755万円**。

●今年度は4月から9月の寄附額が**約11億3,733万円**となり、前年比で約40％増えているとのことです。

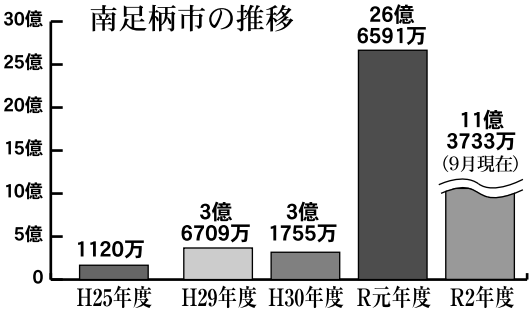
●人気の返礼品は、アサヒビールのスーパードライ、富士フイルムの化粧品アスタリフト、相州牛、はちみつ、日帰り入浴券、アイスクリームなどです。

◎寄附が多く集まった理由について、加藤市長はこう語っています。
「地元企業のブランドの力による安定した人気と、市民の皆様のご協力の賜物です。その基盤は私たちの先祖・先人が苦労して育んできた森林や、良質で豊富な水などの資源や歴史・文化です。これが南足柄市のブランド力につながっていると思います」。



R元年度 ふるさと納税の受け入れ額

1位	南足柄市	26億6591万円
2位	厚木市	11億4407万円
3位	箱根町	10億3160万円
4位	海老名市	8億4632万円
5位	鎌倉市	7億4747万円
6位	山北町	7億 671万円
7位	三浦市	6億2884万円
8位	綾瀬市	4億6739万円
9位	小田原市	3億8352万円
10位	川崎市	3億7329万円



道の駅 足柄・金太郎のふるさと
想定を超える来場者で盛況
～駐車場の増設へ～

好調な滑り出し

●道の駅は、新型コロナウイルスの影響で2カ月遅れて6月26日に開業しましたが、市内外からの来客で大変にぎわっています。

●来場者、売り上げともに想定の2倍を超えています。

●駐車場は75台分のスペースに加えて、臨時のスペースを確保して対応していますが、すでに周辺の道路で渋滞が起きている状況です。このため、市では約30台分の駐車場の拡張を行い、年末までに完成させる予定です。

◎加藤市長は「コロナ禍で地方分散が提起される中、遠くのリゾートに集中して移動する観光から、近場のローカルを楽しむ観光への転換を図るための拠点にしたい」と語っています。



テープカットをする加藤市長（右）


オープン当日のにぎわい